

アカデミックチャレンジ(2年)

2024.04.25

昨年度からスタートした企画です。初回は、県内の大学（信州大学農学部、信州大学繊維学部、長野県立大学、長野大学、長野県看護大学、松本大学）の先生 11 名に講師として来校いただきました。講義やワークショップを通じて、先生方がその分野・テーマの研究に取り組んでいる動機や研究にかける期待・思いを話していただき、そして、高校生に対して先生方の専門分野から「問い（課題）」を提供してもらいました。大学で研究対象になっているような「答えのない（答えの見つかりにくい）問い」に立ち向かうことは容易ではないですが、与えられた「問い（課題）」をきっかけに、自分自身や、自身の周囲にみられる社会・環境・技術などに対して考えを深め、個人探究のヒントを得ることができれば良いと考えています。今後、与えられた「問い」に対して、高校生が自分なりの「答え」を出して大学の先生に提示します。6月13日（木）には、高校生が出した「答え」に対する、大学の先生からのフィードバック・振り返りの講義をいただく予定です。

与えられた「問い」の例(生徒の授業振り返りより)

あなたが購入する服の経験則は何だろう？
メーカーは売れる衣服をどう作れば良いのだろう？

伊那市の 30 年後における水田生態系の状況を予測した上で、
生物多様性を持続的に保全するための方策を提案してください。

地域再生や地方創生に向けて、地域の課題を見つけて
その改善策を具体的に考えてください。

労働者にとって、どうすれば仕事の「やりがい」は良いものになるのか？

子どもが自分らしく健やかに生きるために自分ができることは何か？

あなた自身で考える「健康」な食事とは？

カーボンニュートラル社会に向けて
どのような取り組みが必要でどのような難しさがあるか？

